

今週のモーニングセミナー報告

令和5年2月15日(水)の講話 <第928回>

テーマ:「私の履歴書から～ターニングポイント～」

講師:音楽スカートラ 代表 米田 優 様

講話全般は自己紹介と大きな転機になったエピソードの講話。教師生活最初の赴任地が東かがわ市の大川中学校。そこでの生徒の一人が松浦清貴会長でもあった。1962年生まれ、屋島中学二年生の時、佐々木先生がいい声してるからと、昼休みに何度も来られて誘われる。それが音楽との出会いになる。高松一高に入学する、山田純彦先生の教えもあり、国立音楽大学音楽部へ入学。音楽では食べていけないのではと進路に不安を感じていた。ある時原宿の竹下通りを上から見ることもあり、人々の頭がゴキブリのように見えた。その時、教員資格も取っていたので、香川に帰ろうと思った。大川中学校に赴任して横内の桜がきれいだと感動。志度小学校に赴任して合唱団を作り、歌の活動を開始「NHK コンクール香川県大会」に出場(動画放映)。学校活動とオペラの活動の二足のワラジの生活。2007年に県民ホールで劇団四季の「ジーザス」を観た。この劇団に行きたいと思い、何の根拠もない自信があった。オーディションを受けその風景がTV番組「カンブリア宮殿」に放映される。それを見た知人から多数かかってきて、電源が落ちるという目にも合う。2009年9月「CATS」に出演。それを見に来ていた安部元町長が「よねだ～ よねだ～」と最後に立って大声で連呼される。デビュー2か月間の劇団四季あざみ野でのスケジュールを説明。「僕は努力したことがない。努力ということが嫌いで、ただ一人の練習は楽しい～」2012年に退団、2016年にレガザムホールの館長。8月に松田華音さんの横顔がいいので横使いのコンサートチラシを説明。岡山芸術創造劇場準備室ゼネラルマネージャー。最後に「目的と手段」の考え方の説明。ターニングポイントは楽しい方を選択。考え方で全て変えられる。子供の心を忘れていない、のびのびと生きてきた半生を「まとまって無い話ですが～」と屈託なく波乱に満ちた内容を語っていただきました。

担当者:赤山 芳隆

私が中学生時代に3年間音楽を教えてくれた米田先生の講話でした。大川中学校、志度小学校で教諭をした後に2009年劇団四季に入団してCATSに出演。劇団四季では6時半から22時までクラシックバレエレッスン、呼吸法、JAZZレッスン、CATS個人レッスンをした。私も昨年初めて劇団四季のライオンキングをみて、演技力に感動をしたのを覚えています。あれだけの演技力が出来るのはものすごい練習と準備力があるのだとわかりました。また母音で発音する重要性を話され、おはようございます、東かがわ市倫理法人会を母音で発音する練習を全員で行いました。活舌良くするトレーニングということで勉強になりました。ハキハキトしゃべることは相手にも聞き取りやすく重要だと思います。ターニングポイントは楽しい方を選択、考え方で全て変わると話されました。米田先生の講話は30年たっても変わらずに迫力があり、私が中学生の時に戻ったような感覚で楽しかったです。ありがとうございました。

会長:松浦 清貴

連絡事項

※次回のモーニングセミナーは2月22日(水)朝6:00～7:00南新町自治会館にて経営者モーニングセミナーをします。「Σ(∩_∩)が癌と診断されました」と題しまして(一社)倫理研究所 法人局 法人レクチャー 山田祐司様の講話を予定しております。次回も是非ご参加ください。

出席社数 15社 15名

香川県東かがわ市倫理法人会 TEL (0879) 26-9000/FAX (0879) 26-9001

メールアドレス rinri-hk@ma.pikara.ne.jp